

平成29年度12月～2月

戦争体験を聞く会

開催月日	語り部（戦争体験者）のお名前・生年など	タイトル・主な内容
12月 10日(日)	つちだ しゅうじ 土田 修司 さん (昭和11年生まれ、草津市在住)	「幼き日々を振り返って…」 —父を亡くした少年が見た戦争— 昭和13年、ご自身が2歳の時に父親が中国にて戦死。それ以降、残された家族とともに戦中・戦後を生き抜いてきた日々を振り返っていただきます。その中で、家族への思いや戦争についての思いをお話しいたします。
1月 14日(日)	こまつ ひでお 小松 英郎 さん (昭和5年生まれ、大津市在住)	「家族を奪った豊栄丸の沈没 —朝鮮・木浦(もっぼ)での日々— 昭和20年、朝鮮・木浦(もっぼ)公立中学校3年生の冬、父親が済州南国民学校の校長に任ぜられ、ご本人以外の家族は済州島へ。その後、戦況の悪化にともない、済州島からの強制疎開が始まり、7月3日、家族を乗せた第1陣の豊栄丸が磁気機雷により沈没。家族を失った時の思いや当時の様子についてお話しいただきます。
2月 11日(日)	みなみだ さとる 南田 覚 さん (大正12年生まれ、守山市在住)	「零戦パイロットとして臨んだラバウル空中戦」 昭和15年、予科練習生として茨城・土浦航空隊に入隊。その後、百里ヶ原航空隊で赤トンボ(練習機)、長崎・大村航空隊で九六式戦闘機の訓練を受ける。卒業後は、愛知・豊橋海軍航空隊で零戦パイロットとしての訓練を経て、昭和17年末にラバウル基地に配属され、ソロモン諸島での空中戦に従事する。翌年10月、ラバウルにて米軍機との空中戦において負傷。九死に一生を得て日本に復員されるまでのことがらや戦争に対する思いをお話しいただきます。

時間は各回とも、13時30分～15時ごろまで



今年8月13日(日)の戦争体験を聞く会より

・若い世代の私たちが戦争を知ることには意味があると思います。少しでも周囲に広げられたらと思っています。
・語り部の方が年々少なくなる中で、つらい思い出や体験を聞かせていただくことはとても価値のあるものだと感じました。(これまでの会の参加者の感想より)

- ・場所は各回とも研修室です。
- ・事前申し込みは不要です。
- ・参加費は無料です。

会場：滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町431番地)

 お問い合わせは、滋賀県平和祈念館まで

電話：0749-46-0300

ファックス：0749-46-0350

メール：heiwa@pref.shiga.lg.jp